

## 令和7年度第3回尼崎市文化財保護審議会会議録要旨

### 1 日 時

令和8年1月22日(木) 午後10時00分～12時00分

### 2 場 所

尼崎市立歴史博物館 3階 講座室

### 3 出席委員

委 員	大 場 修
委 員	伊 達 仁 美
委 員	川 口 宏 海
委 員	長 谷 洋 一
委 員	綿 貫 友 子

### 4 出席した事務局職員

社会教育部長	橋 本 貴 宗
歴史博物館長	門 田 真由美
歴史博物館文化財担当係長	高 梨 政 大
歴史博物館文化財担当学芸員	新 里 遥
歴史博物館文化財担当学芸員	楞 野 一 裕

### 5 開 会

司会進行 門田館長

### 6 議 事 等

議事「令和7年度尼崎市指定文化財候補物件の答申について」を議題とし、「光厳上皇院宣」の答申文案について、事務局から説明した。

- ・「また、寺町の大覚寺には自身の誕生時に関わって、」は、具体的にどうなのかわかりにくい。自身というのは、光厳上皇なのか。
- ・西園寺公衡、娘、大覚寺との関係性が1度読んだだけでは理解しにくい。
- ・光厳天皇の母親が、(広義門院)寧子、その父親が西園寺公衡。大覚寺に伝わる書状は、西園寺公衡が、娘寧子が無事に皇子(後の光厳天皇)を生んだことの喜びを述べている文書である。
- ・寧子と西園寺公衡の関係がこれだけだとわかりづらい。また、上皇との関係を一行で表現するのは、難しいのでは。
- ・大覚寺と光厳上皇との関係の説明は。
- ・書状の宛先が、大覚寺の住持の琳海である。琳海の祈祷によって、安産ができたという内容を喜んでいるという内容である。
- ・「寺町の大覚寺には自身の誕生時に関わって、」の後に「住持琳海に」と加えた方がよいか。
- ・「大覚寺には、住持琳海に宛てて」でも良いと思う。「自身」という表現だと曖昧なので、「光厳上皇自身の」の方が良い。
- ・少し長くなるが、「寺町の大覚寺には自身の誕生時に関わる文書も残っている。」と一

度文章を切り、「西園寺衡が当時の住持琳海に宛てて、娘の広義門寧子への祈禱を依頼し、その結果安産で誕生したのが後の光厳天皇である。」とするのはどうか。

- ・光厳上皇と尼崎をつなぐポイントになる大事なエピソードなので、すんなりと意味が通るような文章にする方がよい。

以上の質疑や議論を踏まえ、委員長が「光厳上皇院宣」の答申文について諮ったところ、原案の通りで異議がなく、全委員の了承が得られ、答申を提出することとなった。

## 7 報告等

「尼崎市文化財保存活用地域計画の認定について」

- ・認定について
- ・認定記念シンポジウム開催予定について

## 8 その他

「最近の文化財行政について」

- ・旧尼崎紡績本社事務所について
- ・令和8年度展示予定について等

最後に、答申書の提出を受け、審議を終了した。

以上